

## JPCA 教育セッションコード

目的：学術大会・セミナー・支部ブロック地方会などのJPCA主催で行われる教育セッションを、教育内容に基づいて分類することで、学会の提供する生涯学習を俯瞰する。

- ・ 会員にとっては、コードを参照することでセッション内容を確認しやすくなり、また生涯学習のニーズに合わせて選択しやすくなる。
- ・ セッション提供者にとっては、自らの提供する教育内容がプライマリ・ケアに必要な教育全体の中での位置づけを確認することができる。
- ・ 学会にとっては、学会主催で行われる教育セッションを分析し、中長期的に必要な教育計画を立てることができる。

対象：学会主催の、学会員を対象としたすべての教育セッション

- ・ 学術大会での教育講演、シンポジウム、インタレストグループ、インタラクティブセッションなど
- ・ 秋季生涯教育セミナー、若手医師のための冬期セミナーの全セッション
- ・ ブロック支部主催の地方会における教育セッション

表示形式：提供形式、対象者、内容、キーワードを表示する。

- 提供形式は、企画・運営を担当する実行委員会等が定めたとおり行われるが、ある提供形式が下記の3つの軸でいずれに該当するか、企画側で分類しておく。（例えば教育講演であれば、一方向型、オンライン、ハイブリッドのようになる。）
  - ◆ 双方向／一方向型
    - 双方向型：ワークショップ、インタラクティブセッション、インタレストグループ（参加型）、交流、参加者による討論など。
    - 一方向型：講義、講演、シンポジウム、パネルディスカッション・インタレストグループ（講義型）など。
  - ◆ 対面／オンライン
  - ◆ （オンライン限定）ライブ／オンデマンド／ハイブリッド
- 対象者は、該当セッションで想定される学習者・受講者を選択する（**複数選択可**）。

<input type="checkbox"/> 初期研修医	<input type="checkbox"/> 専攻医	<input type="checkbox"/> 認定医	<input type="checkbox"/> 専門医
<input type="checkbox"/> 指導医	<input type="checkbox"/> 実地医家		
<input type="checkbox"/> 歯科医師	<input type="checkbox"/> 薬剤師	<input type="checkbox"/> 看護師	<input type="checkbox"/> リハビリ専門職
<input type="checkbox"/> 介護・福祉職	<input type="checkbox"/> 事務職	<input type="checkbox"/> その他の職種	<input type="checkbox"/> 全ての専門職
<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> 一般市民	<input type="checkbox"/> 全て	
- 内容は、該当セッションで提供される主な学習内容を分類するもので、分類コードとして**同時に3つまで**付与することができる（後述）。
- キーワードは、5語以内で設定する。

運用：

1. 上記対象の教育セッションに関しては、企画者または応募者が応募時点で分類を行う。
2. プライマリ・ケア教育委員会は、付与されたコードを集計・分析し、学会主催の教育セッションに関して提言を行う。
3. 本コードは、学会の提供する教育セッションに対するニーズや評価に沿って、定期的に見直される。

応募フォームのテンプレートに含まれる項目

1. 企画責任者
2. 企画協力者（講師・司会・パネリスト・ファシリテーター等）
3. 企画テーマ・タイトル
4. 提供形式
5. 対象者
6. 内容
7. キーワード
8. 抄録
9. 定員
10. 希望する日時

## 分類コード一覧

1. 家族志向のケア
2. 患者中心の医療
3. 健康の社会的決定要因(SDH)
4. 多疾患併存
5. 地域志向のケア
6. チーム医療・ケアの調整や移行
7. 長期的な全人的関係に基づくケア
8. 統合されたケア
9. 複雑困難事例のケア
10. 慢性疾患のケア
11. 未分化な健康問題／不確実性
12. 予防医学と健康増進
13. プライマリ・ケア／家庭医療学総論
14. プロフェッショナルアイデンティティ
15. 一般的な疾患・病態に対するマネジメント
16. 一般的な症候への対応と問題解決
17. 診断学／ヘルスアセスメント
18. 検査
19. 手技
20. 薬物治療
21. 栄養・食事
22. 歯科・口腔ケア
23. 幼小児・思春期の診療とケア
24. 高齢者のケア
25. 緩和ケア／人生の最終段階におけるケア
26. 在宅医療
27. 救急医療
28. 災害医療
29. ICT・遠隔医療
30. 障害とリハビリテーション
31. スポーツ・運動医学
32. セクシュアルヘルス
33. ダイバシティ
34. メンタルヘルス・行動科学
35. コミュニケーション
36. 統合医療
37. 産業保健
38. 国際医療
39. EBMの実践
40. 医療倫理
41. プロフェッショナリズム
42. 医療者自身のケア
43. キャリア開発
44. 教育と生涯学習
45. 研究
46. 公衆衛生（疫学・生物統計学、医療政策・医療経済学、感染管理を含む）
47. システムに基づく診療（医療の質・患者安全の向上を含む）
48. 組織マネジメント
49. その他

## 各分類項目のねらい

### 1. 家族志向のケア

家族の関係性、ライフイベントなどが重要な役割を果たす事例などの患者本人の問題だけでなく、家族全体を含めて評価し、家族システム全体に視点を向けたケア。

キーワード：医師－患者－家族関係、家族システム（家族構成など）、家族構造（家族内役割分担など）、家族内交流（家族内の人間関係が与える影響など）、家族のライフサイクル

### 2. 患者中心の医療

患者との関係性、疾患と病の両方の経験、地域や家族などを含めた全人的視点から評価し、最善の方針につなげていくケア。

キーワード：患者中心の医療の方法、生物心理社会モデル、疾患と病い、全人的医療、コンテキスト、共通の理解基盤、相互意思決定

### 3. 健康の社会的決定要因（SDH）

患者、特定の集団、地域の健康問題と関連する健康の社会的決定要因（SDH）を見出し、それに対するアドボカシーや医療および地域資源へのアクセス改善など、健康格差縮小に資する取り組みを行うこと。

キーワード：SDH、SES(socioeconomic status)、格差、差別、貧困、アドボカシー、ヘルスリテラシー、医療アクセス、社会的処方、[社会的関係](#)

### 4. 多疾患併存

複数の疾患が絡み合った症例における複数の医療施設や専門医・専門科の間での連携やマネジメント。

キーワード：バランスモデル、治療負担、キャパシティ、ポリファーマシー

### 5. 地域志向のケア

コミュニティが持つ特性の理解と健康問題の把握、問題を改善するための活動、その評価。

キーワード：地域包括ケア、地域特性（文化、歴史など）、地域の健康維持増進（住民との協働、保健事業、政策など）、健康の社会的決定要因、地域医療（都市部、へき地など）

### 6. チーム医療・ケアの調整や移行

様々な保健医療/福祉/介護専門職の協働が必要な患者へのケアやその移行の問題、多職種連携や地域医療連携のチームに関する問題とその改善。

キーワード：多職種連携、ケアの調整、移行期ケア

### 7. 長期的な全人的関係に基づくケア

継続的な関係性（外来で数ヶ月診療している、あるいは外来で診ていた患者が入院しても継続して診ているなど、longitudinalityのある関係）の中に生じた何らかの変化を活かしたケア。

### 8. 統合されたケア

複数の医療・介護・福祉施設、または複数の医療・介護・福祉専門職種を跨いだ形でシステム全体に視点を向けて行われたケア。

### 9. 複雑困難事例のケア

問題の複雑度が高い患者における複数の専門職を巻き込んで行われたケア。

キーワード：複雑性、クネビンプレームワーク、チーム医療

#### 10. 慢性疾患のケア

慢性疾患患者に対し、コミュニティや保健システムも考慮し、患者の自己管理能力や意思決定を支援しながら行われたケア。

キーワード：継続性、患者のセルフケア、慢性疾患ケアモデル、行動変容モデル、意思決定支援、地域資源、ヘルスリテラシー、地域保健システム

#### 11. 未分化な健康問題／不確実性

初診患者や新たな問題が生じた患者において、考え得る最善の臨床推論が行われているにもかかわらず、診断が付かない、方針が決まらないなどの不確実さを受け容れつつ、継続的に行われたケア。

キーワード：不確実性、多様な訴えへの対応

#### 12. 予防医学と健康増進

予防医学や健康増進の側面から長期的視点で行われたケア。

キーワード：ワクチン、生活習慣指導、健診の事後指導、学校保健、健康教室、性に関する健康

#### 13. プライマリ・ケア／家庭医療学総論

プライマリ・ケア領域の入門者を対象に、総合診療や家庭医療の基本的な内容について理解することを目的とするもの（教育セッションに限定して付与される。また、他のコードとの併用は認めない）。

#### 14. プロフェッショナルアイデンティティ

プライマリ・ケア／家庭医療に関する専門職のコンテキストの中での自らの存在、周囲との関係性、その専門職の役割は何かなど、ある専門職の役割や意義、存在価値。

キーワード：アイデンティティ形成、専門職、専門医制度

#### 15. 一般的な疾患・病態に対するマネジメント

一般的な疾患・病態に対するマネジメント。新家庭医療専門研修における経験目標を参照。

<https://www.shin-kateiryu.primary-care.or.jp/experiencegoal>

#### 16. 一般的な症候への対応と問題解決

一般的な症候への対応と問題解決。新家庭医療専門研修における経験目標を参照。

<https://www.shin-kateiryu.primary-care.or.jp/experiencegoal>

#### 17. 診断学／ヘルスアセスメント

日常臨床の様々な問題における必要な医療情報の収集、様々な問題解決のプロセス、疾病・病態の推論と解決方法の立案、診断に結びつく病歴聴取や身体診察の理解と実践、それら全体を通しての診断や判断。看護師においては、患者のトリアージやヘルスアセスメントの計画・実践。

キーワード：臨床推論、病歴聴取、身体診察、トリアージ、ヘルスアセスメント

#### 18. 検査

日常臨床における検査の選択と実施、結果の解釈、臨床への活用。

キーワード：検体（血液・尿・穿刺液等）検査、生理学的検査、画像検査、神経心理学的検査

#### 19. 手技

日常臨床における様々な診察手技や検査・治療手技の実施、得られる所見の解釈、診断治療への適用。

キーワード：採血・簡易機器による検査、採尿・導尿、注射法、膝関節・肩関節などの穿刺、胸

腔・腹腔穿刺、子宮頸部スミア

## 20. 薬物治療

プライマリ・ケア設定で利用する頻用薬の使い分け、薬物相互作用、ポリファーマシーへの対応。  
キーワード：ポリファーマシー、薬物相互作用、副作用、アドヒアランス

## 21. 栄養・食事

基礎栄養学の理解、患者背景、診療セッティング、病状・病態に適した栄養評価や栄養ケア。

## 22. 歯科・口腔ケア

適切な口腔ケアの提供と、それによる誤嚥性肺炎やオーラルフレイルの予防・重症化予防。

## 23. 幼小児・思春期の診療とケア

小児・思春期の発達、家族や園・学校などの周辺環境まで踏まえたケア。小児期発症疾患を有する患者の移行期医療・ケア。

キーワード：急性期医療・ケア、先天性・慢性疾患管理、発育・発達、思春期のケア、ワクチン・予防、移行期医療・ケア、園・学校保健、児童虐待、医療的ケア児

## 24. 高齢者のケア

生物医学及び心理社会的側面から多面的・網羅的に行われた高齢者のケア。

キーワード：老年医学、高齢者総合機能評価、介護保険制度、フレイル・サルコペニア、認知症、加齢・老化

## 25. 緩和ケア／人生の最終段階におけるケア

さまざまな疾患、重症度、診療の場において質の高い緩和ケア・終末期ケア。

キーワード：全人的ケア、身体的ケア、心理社会的ケア、スピリチュアルケア、患者QOL、アドバンス・ケア・プランニング

## 26. 在宅医療

居宅や施設等のセッティングを考慮した終末期や慢性期、緊急時などの諸相におけるマネジメント、関わる多職種と協働した在宅医療。

キーワード：多職種連携、在宅緩和ケア、医療・福祉制度、施設入所者への訪問診療、小児在宅、難病・障害者在宅医療、家族・介護者のケア、介護保険、在宅看取り、ケアの調整と移行

## 27. 救急医療

短時間で病態が変化するような患者の重症度や緊急度を意識したアセスメント、マネジメント。

## 28. 災害医療

災害（地震、火災、津波、豪雨水害・豪雪、火山噴火、新興感染症パンデミックまたは航空機事故などの大規模な事故）時の身体的、心理的ケアも含めた医療。

キーワード：災害派遣、トリアージ、急性期支援、亜急性期支援、慢性期支援、要配慮者支援、受援、ロジスティック

## 29. ICT・遠隔医療

オンライン診療によるプライマリ・ケアのアクセス改善、診療ソフト・アプリケーション利用によるケアの質の改善、プライバシーやセキュリティへの配慮、ヘルスケアデータを利用した研究や医療政策提言。

キーワード：オンライン診療、遠隔診療、ICT医療、データヘルス、デジタルヘルス、医療用アプリ

### 30. 障害とリハビリテーション

国際生活機能分類（International Classification of Functioning: ICF）に基づいた患者像の評価や目的、疾病、場によって異なるリハビリテーションの目標立案、処方、介入、評価。

キーワード：構成要因（ICFなど）・方法・評価と分析、予防とリハビリテーション、疾病とリハビリテーション、場（外来・入院・在宅）とリハビリテーション

### 31. スポーツ・運動医学

プライマリ・ケアにおけるスポーツ関連外傷・障害、アスリートの身体疾患管理とメンタルヘルスへの関わり、安全かつ適切な運動機会の確保とリスク管理、疾患や障害を持つ患者への対応、地域で行われるスポーツ活動への参画などに関する知識やスキル。

キーワード：運動器診療、スポーツ外傷、スポーツ障害、運動参加前診察、運動処方、アンチドーピング

### 32. セクシュアルヘルス

患者の性に関わる健康問題、一般的なウィメンズヘルスなどに関する知識やスキル、ケア。

キーワード：包括的性教育、妊産婦のケア、ウィメンズヘルス、LGBTQ、メンズヘルス、SRHR（Sexual and Reproductive Health and Rights：性と生殖に関する健康と権利）、性差医療

### 33. ダイバシティ

多様な患者の個性を尊重したケア。ダイバシティ（多様性）やインクルージョン（包摂）の推進につながる医療者の働き方や職場環境。

キーワード：ダイバシティ、インクルージョン、周縁化、gender equity、働き方改革

### 34. メンタルヘルス・行動科学

診断基準を参照した診断、心理社会的な背景を踏まえた治療とマネジメント、症状や生活上の変化の評価。患者医療者関係、健康行動に関する理論や実践。

キーワード：精神疾患、心身症、メンタルヘルス不調、向精神薬、精神療法、行動変容、健康行動、動機づけ面接、患者教育、精神保健、患者医療者関係

### 35. コミュニケーション

医療面接、対人コミュニケーション技法、メディア・コミュニケーション、リスクコミュニケーション、テレメディスン、非言語コミュニケーション（AI含む）の実践。多言語によるコミュニケーション。

### 36. 統合医療

病気の超早期発見や予防、根治、健康維持の増進などを含む、西洋医療と代替医療を統合した補完的・総合的なケア。

キーワード：補完代替医療、西洋医療、健康増進、疾病予防

### 37. 産業保健

労働者と事業者に対する指導と助言、持病治療と就業の両立支援、産業保健に関わる医療職との連携、職業に関連する疾病予防、**労働者の健康の保持増進**。

キーワード：健康管理、作業管理、作業環境管理、健康診断、メンタルヘルス、長時間労働、復職支援、適正配置、労働衛生教育、外国人労働者、有害業務管理

### 38. 国際医療

国際的な医療インフラストラクチャーの整備、母子保健、疾病対策、**災害対策**、保健医療人材、医療の質、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジなどの分野においてさまざまな**交流と支援**。

キーワード：組織間連携、国際支援、在日外国人診療、在留邦人診療、多文化理解

### 39. EBMの実践

臨床症例における問題の定式化、エビデンスの検索と批判的吟味、臨床上の意思決定の最適化。

キーワード：エビデンスに基づくプライマリ・ケア実践、問題解決、情報検索、批判的吟味、診療ガイドライン、シェアードディシジョンメイキング（SDM）、EBM教育

### 40. 医療倫理

生命倫理、臨床倫理に関する原則や代表的なフレームワーク、臨床や医療者教育への適用。

キーワード：臨床倫理の4原則（ビーチャムとチルドレス）、臨床倫理の4分割表（ジョンセン）、インフォームドコンセント、法律と義務、生命倫理（遺伝子を含む）

### 41. プロフェッショナリズム

プロフェッショナリズムの理論的背景と原則、医師としてのあり方と行動、省察と生涯学習、自己管理。

キーワード：規範的行動・人間性、利他主義、社会正義、患者中心性、医療者間関係、リフレクション（振り返り）、自己研鑽、卓越性、時間管理

### 42. 医療者自身のケア

医療者自身が関わるチームのウェルビーイングの問題抽出や分析、改善。

### 43. キャリア開発

キャリア開発の基礎知識、キャリアに関する情報収集と分析、自己理解と自身のキャリアを高める取り組み、スタッフや学習者（例：専攻医や初期研修医、学生）へのキャリアに関するアドバイス。

### 44. 教育と生涯学習

臨床現場での医療・福祉・介護専門職（各々の学生含む）への教育機会における教育活動の計画、実施、評価、継続的改善。医療者としての継続的な生涯学習。

キーワード：卒前教育、卒後教育、生涯学習、多職種との教育機会、その他の教育（地域、住民など）、学習者評価、プログラム評価、学習方略

### 45. 研究

プライマリ・ケア、家庭医療／総合診療領域の研究。研究手法、研究における倫理、研究全般における課題や問題点とその対策を含む。

### 46. 公衆衛生（疫学・生物統計学、医療政策・医療経済学、感染管理を含む）

地域社会における人々（集団）を対象として、その健康問題を解決する、および健康を増進する科学、そして活動。生活習慣病、がん、感染症などの疾病予防、母子保健、学校保健、産業保健、地域包括ケアなど多岐にわたる。

#### 47. システムに基づく診療（医療の質・患者安全の向上を含む）

医療の質や患者安全に関する組織内のシステムの課題の分析、および課題に対する体系的・持続的な改善活動。

キーワード：医療の質、質指標、患者安全、システム、改善活動、PDCA

#### 48. 組織マネジメント

組織の理念やビジョン、経営者・部門リーダー・フォロワーの各立場における組織マネジメント。

キーワード：リーダーシップ、マネジメント、診療所経営、組織運営、プログラム運営、リクルート、フォロワーシップ

#### 49. その他

交流企画、実践報告（活動報告）、分類困難な項目など。